

# 機能水ニュースレター No. 102

2021年7月16日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・本間茂・中藤誉子

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: [kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp) ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告：第81回ウォーター研究会セミナー	1
案内：日本機能水学会第19回学術大会	2
ATP・迅速検査研究会 定例講演会	3
ルイ・パストゥール医学研究センター活動	3
第45回電解技術討論会	4
佐鳴湖いきもの交流会(三遠南信水機能研究会関連活動)	4

## 機能水関連カレンダー

ATP・迅速検査研究会 定例講演会	2021年9月28日(火)	情報館(東京八丁堀)
生物安全実践講習会基盤コース	2021年10月(上旬予定)	京都(予定)
日本機能水学会第19回学術大会	2021年10月30-31日(土-日)	長井記念館(東京澁谷)
第45回電解技術討論会	2021年12月9~10日	オンライン

## <第81回ウォーター研究会セミナー報告>

2021年7月3日(土)午後、日本薬学会長井記念ホール(東京澁谷)を起点会場として、日本機能水学会とウォーター研究会の総会に引き続いて開催されました。参加形式は、リアル(来場)とWEBのハイブリッドで行われ、来場者35名、WEB20余名でした。下記の講演が行われ、各演題とも興味深い内容であったが、中でも新型コロナウイルス感染症対策のための適用拡大承認が待望されているイベルメクチンの最新状況・情報に関する講演に高い注目が集まりました。また、ifia JAPAN 2021(5月)を契機に機能水財団とコラボを進めていくことになったATP・迅速検査研究会の講演は新風を感じさせました。

1. 機能水を巡る動向 2021-1: 堀田国元(機能水研究振興財団)、2. 教育講演: 医学を科学する: イベルメクチンのCOVID-19への適応拡大で見えてきたもの: 八木澤守正先生(北里大学大村智記念研究所感染症制御研究センター客員教授)、3. 次亜塩素酸水中のHOClとOC<sup>-</sup>の平衡に影響するNaCl濃度の検証: Exceによる簡便な検証法: 鈴木潔((株)鈴木微生物研究所)、4. 電解水手洗いの評価: ifia でコラボしたATP・迅速研究会の考察: 斉藤渉(ATP・迅速検査研究会)、5. コロナ禍におけるオゾン水の動向およびオゾン水とオゾンガスの不活化機構の違い: 錦善則(日本医療・環境オゾン学会)



## ＜日本機能水学会第 19 回学術大会案内＞

大会テーマ： 新時代を拓く機能水

大会長 今田 千秋先生(東京海洋大学学術研究院教授)

開催日： 2021 年 10 月 30～31 日(土・日)9～17 時(予定)

会場： 日本薬学会 長井記念ホール(長井記念館 B1F)、  
東京都渋谷区澁谷 2-12-1 (03-3406-3326) アクセス： JR 渋谷駅東口より徒歩

感染対策： 検温、手指消毒、マスク着用、3 密回避、隣間距離確保、換気

参加申込： 申込は事前のみとし、10 月 15 日(金)までに、下記に従って、参加費の入金手続きの完了が必要です。  
学会 HP(<http://www.fwf.or.jp/gakujutu.html>)の専用 WEB サイトより手続きしてください。

なお、予定定員は来場(対面)100 名、WEB(Zoom)100 名。

参加費： 会員 6 千円(機能水学会、機能水財団、オゾン学会、口腔機能水学会、ATP・迅速検査研究会など)、  
非会員 1 万円

講演 申込： 学会 HP の学術大会一般講演申込案内に従って講演要旨とともに 8 月 25 日(水)までにご提出ください。

形式： 対面または動画放映

プログラム： プログラム委員会(岩澤篤郎委員長ほか学術集会担当理事中心に構成)において、以下の事柄を念頭に  
セッション等を検討中。9 月上旬に最終決定し、学会 HP 及びニュースレターで案内する。

機能水関連団体等の活動と展望、研究分野(食品衛生、理化学・技術、口腔)；

機能水(海洋深層水、次亜塩素酸水、オゾン水、アルカリイオン水ほか)

特別講演・教育講演(海洋深層水関連、SDGs 関連、食品衛生関連、技術関連、水素水関連ほか)

更新情報： 機能水学会 HP(<http://www.fwf.or.jp/gakujutu.html>)

問合せ： 機能水学会事務局 [kinousui-gakkai@fwf.or.jp](mailto:kinousui-gakkai@fwf.or.jp) 担当： 本間茂(プログラム)、中藤誉子(会場・参加申込)

コロナ禍により昨年は、東京オリンピック 2020 の延期をはじめとして各種の社会的活動が大きなネガティブな影響を受け、新型コロナウイルス対策一辺倒の社会現象となりました。機能水学会でも、第 19 回学術大会を東京海洋大学での開催を予定していましたが、大学が学外者による施設利用を禁止とする措置を講じたために開催延期を余儀なくされました。2021 年度になっても措置の変化は望みにくいことから、大会長の今田千秋先生と機能水学会理事会で相談した結果、会場を昨年の機能水シンポジウム 2020 を行った日本薬学会長井記念ホールに変更して 10 月末に開催することになりました。

ご存知の通り、政府による対策の一環として NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)において各種界面活性剤とともに次亜塩素酸水の新型コロナウイルス不活化活性が評価されました。その結果、次亜塩素酸水は有効性が認められ、一気に全国的に使用が広がりました。しかしながら、NITE の発表は次亜塩素酸水に関する誤解をいくつか含んでおり、世の中に大きな混乱と弊害をもたらしました。そこで、機能水学会では新型コロナウイルス感染症や次亜塩素酸水に関する正しい知識を学び、整理して普及することを目的として、2020 年 6 月末に第 78 回ウォーター研究会セミナー、同 10 月には「機能水が拓く“with corona”の日常と明日」というテーマで機能水シンポジウム 2020 を開催しました。その後もこれまでに、ウォーター研究会セミナーを同じ形式で異なる会場で開催してきましたが、検温、手指消毒、マスク着用、3 密回避、隣間距離確保、換気といった感染予防対策を講じた結果、いずれの集会でもクラスターなどの感染は起きずに済んでいます。

今年の学術大会のテーマである「新時代を拓く機能水」は、ウイズコロナの時代にあってポストコロナの時代も見据えて採択されました。具体的プログラムは、学会の理事で構成されているプログラム委員会で鋭意検討中で、9 月上旬には最終決定されることになっています。決定次第、次号のニュースレターや機能水学会 HP でお知らせします。

## <ATP・迅速検査研究会の活動>

ATP・迅速検査研究会では、今年度から相互に特別会員となった機能水研究振興財団と可能なことからコラボを実施することになりました。すでに、5月に開催された ifia JAPAN 2021 において機能水研究振興財団の展示ブースの運営に3日間(5月12~14日)協力するとともに、14日の午後に行われたセミナー(殺菌・洗浄セッション:“正しい次亜塩素酸水の知識と衛生管理・新技術展望”)において HACCP が実現した。初めてのことであったので課題も浮き彫りになったが、コラボ効果も認められたことから、今後も両者の企画に相互協力を行っていくことになりました。9月には以下の定期講演会がセットされています。

### 定例講演会案内

日時: 令和3年9月28日13~17時  
会場: 食情報館(東京都中央区八丁堀2-14-4、日本食糧新聞社内)  
参加費: 会員1千円(機能水研究振興財団賛助会員を含む)、一般3千円  
問合せ: info@atp-jinsokukensa.com  
プログラム: 公衆衛生・食品衛生の歴史に学ぶ  
伊藤武(一般財団法人東京顕微鏡院 学術顧問・ATP・迅速検査研究会 会長)  
次亜塩素酸水の発展を取り巻く光と影: 標準化に取り組む意義とは  
堀田国元(一般財団法人機能水研究振興財団理事長・ATP・迅速検査研究会特別会員)  
賛助会員プレゼンテーション  
フォス・ジャパン株式会社  
ATP・迅速検査研究会 活動報告:  
手洗い評価における ATP 検査・微生物検査の手法構築に向けた検討について  
食品衛生におけるふき取り検査・迅速検査の有用性と可能性  
川崎晋(農研機構\*食品研究部門食品流通・安全研究領域 上級研究員  
ATP・迅速検査研究会 理事)  
\*農研機構=国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

## <ルイ・パストゥール医学研究センター(機能水研究室)の活動>

### ◎研究施設と公益性研究について

機能水研究室(吉川敏一室長、菊地憲次首席研究員)の実験・研究体制の整備が進み、機能水に関する公益性のある助成研究の公募が始まりました。また、機能水研究振興財団との共同公益事業として昨年より展開している生物安全実践講習会はコロナ禍のため2021年になってからの開催を無期延期していましたが、下記のように再開の見通しとなりました。

### ◎生物安全実践講習会(機能水研究振興財団との共同公益事業)の開催予定

生物安全実践講習会((公財)ルイ・パストゥール医学研究センターと(一財)機能水研究振興財団の共同公益事業)は、予定していた第1回実践コースBと第3回基盤コースともに、コロナ禍の影響により無期延期となっておりましたが、コロナ禍の推移をみながら、秋以降の開催に向けて準備・調整を進めています。

第3回基盤コース: 2021年10月上旬@京都

第1回実践コースB: 2021年12月上旬@滋賀

なお、受講対象者は、①「基盤コース」は病原体の基礎知識を必要とする人たち、②「実践コースA」は病原体あるいは病原体を含む材料を受動的に取り扱う人たち、③「実践コースB」は、病原体あるいは病原体を含む材料を能動的に取り扱う方、あるいはそのような方々の教育・指導に関わる人たちとなっています。

## 第45回電解技術討論会ーソーダ工業技術討論会ー案内

主催：電気化学会電解科学技術委員会  
共催：水素エネルギー協会  
協賛：電気化学会溶融塩委員会、日本ソーダ工業会、日本機能水学会  
世話人：盛満 正嗣（同志社大学）、西尾 拓久央（AGC 株式会社）  
開催期日：12月9日(木)～12月10日(金)  
開催方式：オンライン開催（Live 動画配信と質疑応答）

討論会主題：「脱炭素時代の電解技術」

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、GHGの排出抑制は明確な数値目標が全産業にわたって求められる状況となり、電力消費が必須である電解技術ではプロセスのさらなる効率化や新たな技術開発が目標の達成に必要です。このような脱炭素の時代へ向けた最新の研究開発成果に関するご講演を含む、ソーダ電解、水電解、溶融塩電解、機能水、有機電解、アノード処理、金属精錬、水素エネルギー、めっき技術、電解殺菌、廃水処理、排ガス処理など幅広い分野からの研究発表を募集いたします。

発表申込み：締切9月3日(金)、要旨10月15日(金)必着。オンライン登録。口頭発表(発表15分、討論5分)

☆特別講演 1. 演題未定：経済産業省 基準認証戦略室 加藤 彰二 室長補佐  
2. 演題未定：同志社大学 理工学研究科 白川 善幸 教授

参加申込：10月1日(金)～11月8日(月)の間にオンライン登録。\*参加費の入金手続き完了が必要。  
※第41回水素エネルギー協会大会(11/29(月)、30(火))にも参加可能

参加費(含講演要旨1冊)：※合同Web討論会として「第41回水素エネルギー協会大会(HESS大会)」の聴講料を含む  
電解科学技術委員会 会員 8,800円(通常 11,000円)、協賛学会学生会員 2,200円(通常 3,300円)  
非会員 16,500円(通常 18,700円)、非会員学生 3,300円(通常 4,400円)

◎連絡先：横浜国立大学 大学院 工学研究院 機能の創生部門 松澤幸一

TEL 045-339-4022, FAX 045-339-4024, <https://denkai.electrochem.jp/event.files/45touron.html>

### <三遠南信水機能研究会関連活動>

2021年度総会は書面開催し、講演会等の行事は中止となった。なお、研究会関連行事として下記交流会が開かれます。



本行事はSDGsを応援します

## 佐鳴湖いきもの交流会

対面+zoom  
開催

～佐鳴湖の水のいきものを考える～

佐鳴湖の魚は減っているか、浜名湖はどうなっている？

静岡大学 地域連携応援プロジェクト「佐鳴湖プラットフォーム形成支援」行事として開催します

日時：2021年 7/23 (金・祝) 13:00～17:00 (12:30からzoom接続可)

開催方法：対面(定員50) + zoom(定員100)

対面会場：静岡大学浜松キャンパス(浜松市中区城北) 共通講義棟21教室

主催：静岡大学アメニティ佐鳴湖プロジェクト 協力：浜松土木事務所、浜松市環境保全課、佐鳴湖地域協議会、

申込・問合せ：静岡大学工学部 戸田三津夫 [toda.mitsuo@shizuoka.ac.jp](mailto:toda.mitsuo@shizuoka.ac.jp)  
件名を「佐鳴湖いきもの交流会 2021 参加希望」と書く

参加費：無料 対象：佐鳴湖に関心のある方ならどなたでも